

# 木材ニューズレター

(財)日本木材総合情報センター  
TEL03-3816-5595 FAX03-3816-5062

## 木材製品の荷動き・価格先行き動向調査(18年8月分)

1. 調査実施期間 平成18年 7月20日 ～8月10日

2. 調査実施方法

東京、大阪、名古屋の流通企業(問屋、仲買・小売商)に対し、FAXによりアンケート調査票を送受することにより実施した。

8月分の回答企業数は37社、回収率は64.9%である。

3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight. D. I. (ウェイト・ディフュージョン・インデックス) = { (「増加」の評価を行った回答の割合) × 2 + (「やや増加」の評価を行った回答の割合) - (「減少」の評価を行った回答の割合) × 2 - (「やや減少」の評価を行った回答の割合) } ÷ 2

したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

4. 調査結果の概要

(1) 荷動き動向

表-1 荷動き Weight. D. I.

		18/8月	9月	10月
仕入動向	国産材	△ 21.7	△ 11.7	△ 3.3
	外材	△ 11.4	△ 5.7	0.0
販売動向	国産材	△ 19.0	△ 5.0	△ 5.0
	外材	△ 10.3	5.9	2.9
在庫動向	国産材	△ 13.8	△ 13.8	△ 6.9
	外材	△ 5.9	△ 11.8	△ 7.4

仕入は、国産材が大きなマイナス幅を9～10月と着実に縮め回復基調。外材もマイナス幅を縮めゼロへと明るい気配。

販売では、国産材が9～10月マイナス幅を急激に縮め好転模様で、外材はマイナスから一気にプラスへと確かな回復で推移している。

在庫は、国産材、外材ともマイナス幅で、上下あるが横ばい。

(2) 価格動向

表-2 価格 Weight. D. I.

品 目	18/8月	9月	10月
スギ正角(グリーン)	0.0	4.3	6.5
スギ正角(KD)	0.0	9.1	9.1
ヒノキ正角	11.5	4.0	1.9
ヒノキ土台角	12.0	8.0	8.0
米ツガ正角(現地挽)	28.6	22.5	14.3
米ツガ防腐土台角	21.4	16.7	9.5
米ツガ割物(現地挽)	31.0	26.2	14.3
米マツ平角	27.5	20.0	12.5
北洋アカマツタルキ(現地挽)	38.1	31.0	16.7
ホワイトウッド集成管柱	40.5	35.7	19.0
レッドウッド集成平角	36.1	36.1	22.2
型枠合板(国産)	67.6	58.8	41.2
型枠合板(輸入)	69.4	58.3	38.9
針葉樹合板	58.8	47.1	29.4

スギ正角(グリーン、KD)はゼロから小さなプラスへと好調堅持している。ヒノキ正角はプラスを少し下げやや弱含み気配である。ヒノキ土台角はプラス基調で好調堅持。

米ツガ正角、防腐、土台、米マツ平角はともに大きなプラスを若干縮めるが依然好調。

北洋アカマツタルキ、ホワイトウッド、レッドウッドはプラスをやや縮めたが依然大きなプラスである。

合板極めて大きなプラス幅を多少縮めるが極めて強い。

全品目のプラス回答は本調査初で、9月以降の強含み市況が大きく注目されよう。

<参考>木材製品の荷動き・価格先行動向調査

(数値は回答に対する割合)

2006年8月23日発行

1. 荷動き

単位:%

品目		18/8月	9月	10月	
仕入動向	国産材	増加	0.0	0.0	0.0
		やや増加	0.0	10.0	16.7
		横ばい	66.7	66.7	70.0
		やや減少	23.3	13.3	3.3
		減少	10.0	10.0	10.0
	外材	増加	0.0	2.9	2.9
		やや増加	17.1	17.1	11.8
		横ばい	51.4	54.3	70.6
		やや減少	22.9	17.1	11.8
		減少	8.6	8.6	2.9
販売動向	国産材	増加	0.0	3.3	0.0
		やや増加	3.4	6.7	13.3
		横ばい	62.1	73.3	70.0
		やや減少	27.6	10.0	10.0
		減少	6.9	6.7	6.7
	外材	増加	0.0	0.0	0.0
		やや増加	11.8	29.4	23.5
		横ばい	64.7	58.8	64.7
		やや減少	14.7	5.9	5.9
		減少	8.8	5.9	5.9
在庫動向	国産材	増加	0.0	0.0	0.0
		やや増加	6.9	10.3	6.9
		横ばい	65.5	58.6	75.9
		やや減少	20.7	24.1	13.8
		減少	6.9	6.9	3.4
	外材	増加	0.0	0.0	0.0
		やや増加	20.6	8.8	8.8
		横ばい	52.9	67.6	73.5
		やや減少	20.6	14.7	11.8
		減少	5.9	8.8	5.9

品目		18/8月	9月	10月
米ツガ正角 (現地挽) 9.0×9.0cm 10.5×10.5cm ×3~4m	上昇	0.0	0.0	0.0
	やや上昇	57.1	45.0	28.6
	横ばい	42.9	55.0	71.4
	やや下落	0.0	0.0	0.0
	下落	0.0	0.0	0.0
米ツガ防腐 土台角	上昇	0.0	0.0	0.0
	やや上昇	42.9	33.3	19.0
	横ばい	57.1	66.7	81.0
	やや下落	0.0	0.0	0.0
	下落	0.0	0.0	0.0
米ツガ割物 (現地挽)	上昇	0.0	0.0	0.0
	やや上昇	61.9	52.4	28.6
	横ばい	38.1	47.6	71.4
	やや下落	0.0	0.0	0.0
	下落	0.0	0.0	0.0
米マツ平角	上昇	0.0	0.0	0.0
	やや上昇	55.0	40.0	25.0
	横ばい	45.0	60.0	75.0
	やや下落	0.0	0.0	0.0
	下落	0.0	0.0	0.0
北洋アカマツ タルキ (現地挽)	上昇	0.0	0.0	0.0
	やや上昇	76.2	61.9	33.3
	横ばい	23.8	38.1	66.7
	やや下落	0.0	0.0	0.0
	下落	0.0	0.0	0.0
ホワイトウッド 集成管柱 (5層国内産)	上昇	4.8	4.8	0.0
	やや上昇	71.4	61.9	38.1
	横ばい	23.8	33.3	61.9
	やや下落	0.0	0.0	0.0
	下落	0.0	0.0	0.0
レッドウッド 集成平角	上昇	0.0	0.0	0.0
	やや上昇	72.2	72.2	44.4
	横ばい	27.8	27.8	55.6
	やや下落	0.0	0.0	0.0
	下落	0.0	0.0	0.0
型枠用合板 (国産品)	上昇	35.3	23.5	17.6
	やや上昇	64.7	70.6	47.1
	横ばい	0.0	5.9	35.3
	やや下落	0.0	0.0	0.0
	下落	0.0	0.0	0.0
型枠用合板 (輸入品)	上昇	38.9	22.2	11.1
	やや上昇	61.1	72.2	55.6
	横ばい	0.0	5.6	33.3
	やや下落	0.0	0.0	0.0
	下落	0.0	0.0	0.0
針葉樹 構造用合板	上昇	17.6	5.9	0.0
	やや上昇	82.4	82.4	58.8
	横ばい	0.0	11.8	41.2
	やや下落	0.0	0.0	0.0
	下落	0.0	0.0	0.0

2. 価格動向

品目		18/8月	9月	10月
スギ正角 (グリーン材) 10.5×10.5cm ×3m	上昇	0.0	0.0	0.0
	やや上昇	0.0	8.7	13.0
	横ばい	100.0	91.3	87.0
	やや下落	0.0	0.0	0.0
	下落	0.0	0.0	0.0
スギ正角 (KD材) 10.5×10.5cm ×3m	上昇	0.0	0.0	0.0
	やや上昇	0.0	18.2	18.2
	横ばい	100.0	81.8	81.8
	やや下落	0.0	0.0	0.0
	下落	0.0	0.0	0.0
ヒノキ正角 10.5×10.5cm ×3m	上昇	3.8	0.0	0.0
	やや上昇	19.2	12.0	7.7
	横ばい	73.1	84.0	88.5
	やや下落	3.8	4.0	3.8
	下落	0.0	0.0	0.0
ヒノキ土台角 12.0×12.0cm ×4m	上昇	4.0	4.0	4.0
	やや上昇	20.0	12.0	12.0
	横ばい	72.0	80.0	80.0
	やや下落	4.0	4.0	4.0
	下落	0.0	0.0	0.0

<モニターからのコメント>

- 米マツ一般材丸太の京浜市況は、入荷減から問屋在庫の圧迫もなくなり、大きく値を崩す材料は見当たらなくなった。製材品価格の改善が急務。(東京:問屋)
- 役物は産地オファーがめっきり少なくなり、港頭在庫も減少の一途だが、買い手の意欲は全く感じられず、あわてていない。(東京:問屋)
- 時代の流れでしょうか、集成材の価格が上昇しているようです。(東京:問屋)
- 国産材に陽が当るのかは疑問。願望と現実は往々にして間違う。(東京:問屋)
- 合板の値上げで、木材はどうかと問い合わせが多い。外材は強気配であり値段はそのまま通る。(東京:問屋)
- 欠品が多く、需要の樹種変更が心配になってきました。(東京:問屋)
- 国産材ではヒノキの土台、柱に動きあり、今後も強気配。外材類、合板類は単価のみ1人歩きで、売上は伸びていない。(東海:問屋)
- ヒノキ柱角、特に10.5cm角は受注に追いつかない。入荷が少ない。先月の西日本の大雨の影響が大きい。(東海:問屋)
- ラワン合板関係の急激な値上がりと、それに伴う針葉樹合板特類や厚物合板の欠品で、その手当てに追われている。(東京:仲買小売)
- 合板の価格上昇と欠品騒ぎに目を奪われているが、いずれ落ち着くし、行き着くところに行き解決する。問題は需要の減退。なかなか回復せず、ボディーブローのように影響が深刻になってきている。(東京:仲買小売)
- 朝から店先は平和そのもので、何ら材を動かす程の事もなく、厳しい日々を過ごしている。極端な品不足、仕入れ値高騰の話は全て他国の経済状態のように聞こえる。(東京:仲買小売)
- 型枠用合板品薄の価格高騰は8月末までか。(東海:仲買小売)